

疾患の治療と看護Ⅲ	1年・後期	1単位 15時間	准教授 柴崎由佳
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210321

### 1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅲでは学生が、小児科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科の疾患の治療と看護の知識を身につけ、これらの疾患患者に対して根拠に基づいた看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 小児の生体機能に影響を及ぼす要因を理解し、異常や障害がおこるメカニズムについて説明できる。(D-2)
2. 小児の主要疾患の病因、病態、検査、治療、看護について述べるができる。(D-2)
3. 患児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理学的知識について述べるができる。(D-2)
4. 主な耳鼻咽喉・歯科疾患の特徴と療養生活上の留意点について述べるができる。(D-2)
5. 主な皮膚疾患の特徴と療養生活上の留意点について述べるができる。(D-2)
6. 緑内障・白内障・加齢黄斑変性症・網膜剥離症の症状の違いについて説明できる。(D-2)
7. 主な眼疾患患者の療養生活上の留意点について述べるができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進める。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業後のリアクションペーパーによるリフレクションをおこなう。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google classroom 等による学習課題や教材の提示，事前課題の提出，課題の解説等。

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	小児の疾患1 新生児疾患，先天異常，代謝疾患，内分泌疾患の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎由佳
2	小児の疾患2 免疫・リウマチ性疾患，感染症，呼吸器疾患の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
3	小児の疾患3 循環器疾患，消化器疾患，腎・泌尿器・生殖器疾患の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎

4	小児の疾患 4 血液疾患，腫瘍性疾患，神経系疾患の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
5	小児の疾患 5 運動器疾患，神経発達症・心身医学的問題，眼疾患，耳鼻咽喉疾患，皮膚疾患，外傷・救急の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
6	耳鼻咽喉科・歯科口腔外科の疾患・治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
7	皮膚・眼疾患の治療と看護	講義	予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめておく。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
8	眼科疾患の治療と看護 定期試験	講義	予習：授業全体を振り返り試験に備える。 復習：間違った問題を解き直し正解を理解する。	柴崎

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）100%の結果のみで評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点毎に，ルーブリック評価とする。ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。定期試験の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 メディカ出版

2) ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護 (6) 眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚 メディカ出版

参考文献：1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 2 小児臨床看護各論 第14版 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について，最低90分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

受講前，受講中も必要に応じて人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ（1年・前期）の復習をすること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と解答については後日掲示，またはGoogleclassroom等を用いて解説する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

**11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。